

シーン - 6 温暖化防止森林づくり担い手確保事業

事業目的

間伐等の森林整備を加速化させるため、集約化施策を実践する高度な技能を有する地域リーダーとなる人材を育成するとともに、インターンシップにより新卒者の就業者数の増加と雇用のミスマッチの減少を図ります。また、新規参入者及び林業従事者に対する装備品安全保護具等の導入を支援することで、林業の就労環境の改善や定着率の向上により、人材の確保を図ります。

事業効果

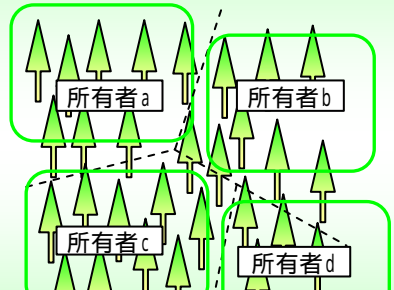
CO2削減効果	- t - CO2
その他(プランナー-育成人数)	延べ20人

事業内容

平成26年度の事業費：7,000千円
 実施主体：県、県林業労働力確保支援センター、県森林組合連合会、森林組合等
 補助率：1/2以内
 事業内容及び事業量
 (1)宮城県森林施業プランナー育成事業 14団地
 (2)みやぎの森林・林業インターンシップ事業
 山仕事ガイダンス 2回
 インターンシップ事業 3事業体
 (3)就労環境改善事業 安全保護具等の整備に対する助成
 (4)新規就業支援事業 新規就労者への作業用機械の整備に対する助成



現状

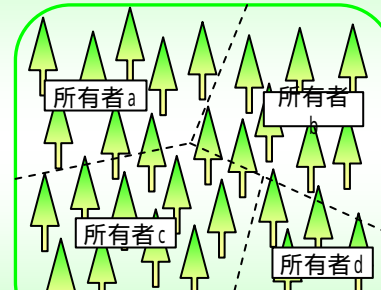


1戸当たりの平均保有面積は2.7ha
 単独の森林施業は非効率で採算割れ

零細で分散している森林所有者の森林の多くは間伐が未実施



税導入後のイメージ



零細所有森林を5ha以上に集約化
 効率的な森林施業で低コスト化

宮城県森林施業プランナーが活躍することで、零細で分散している森林を集約化して間伐を実施

